

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十二年文月



拝啓 今からこの夏の暑さが思いやられる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月はまず貯蔵出荷管理の担当者、佐野君から社員旅行のご報告です。

去る6月の11、12日と社員旅行で大阪に行ってまいりました。11日の朝、新幹線に乗り静岡駅を出発。昼前、大阪に着き、まずはスタミナを補給すべく、法善寺横町でお好み焼きとビールを堪能。その後、食後の運動をかねて道頓堀周辺を散策し、『なんばグランド花月 (NGK)』まで歩きました。そう、吉本新喜劇を見るためです。やはりお笑いはライブがいいですね。社員一同大爆笑でした。さてNGKを出た我々は、そこから1キロほどをダラダラと歩き、新世界に到着。ここでは名物の串カツを食べつつ、今日一日の反省会を開催。程よく胃袋が満たされたところで宿泊先のホテルに向かい、初日は無事終了しました。翌12日、この日は朝からUSJです。ブックレット7を使い、アトラクションを次々と制覇。一番新しい“スペースファンタジー・ザ・ライド”にも乗れました。USJではみんな年のことを忘れてキャーキャー大騒ぎ。社員の意外な一面を見ることもでき、とにかくいろんな意味で面白かったです。この日は昼過ぎまでUSJで遊んで、夕方無事に静岡に到着。幸い天気にも恵まれ、楽しい社員旅行になりました。(佐野博之)



6月18日、珍しいお客様が見えました。シンガポールで日本酒を販売している誠屋さんという会社の社長のTommyさんとスタッフのDylanさん、それに輸出の窓口となっている日酒販国際事業部の丁字谷さんのお三方です。TommyさんとDylanさんはシンガポリアン・チャイニーズ、つまり華僑のビジネスマンです。蛇足ながらイケメンの丁字谷さんは新婚ほやほやです。数年前、家族がシンガポールへ旅行したとき、現地の伊勢丹百貨店でわが臥龍梅を見つけたことがあります。誠屋さんが納品しているものだそうです。ビジネス目的で訪日し、この機会に臥龍梅の蔵まで足を延ばしてみようということでお越しになりました。清水駅でお出迎えし、羽衣の松で有名な三保海岸、日本平、清見寺と観光コースをご案内した後、自宅にお招きして一献傾けていただきました。あいにくの天気で富士山は見えませんでした。地元清水の新鮮なお魚と家内の手料理を肴にたっぷり臥龍梅を堪能していただきましたので、また一段と輸出に弾みがつくものと期待しております。



さて、今月は備前雄町を用いた純米吟醸袋吊り雫酒をご案内いたします。上槽後、生酒で半年間熟成させ、そろそろ飲み頃になってまいりました。どちら様もお見逃しなきよう！

暑さのおりから、くれぐれもおからだをお大事に。

平成22年7月吉日

敬具

鈴木克昌